

公益財団法人 三重県国際交流財団

令和3年度 年報

Mie International Exchange Foundation Annual Report

2021



公益財団法人 三重県国際交流財団 (MIEF)

Mie International Exchange Foundation



MIEF（みえふ）ってなにをしているところ？

MIEFは、外国人も日本人も暮らしやすい社会になるように、いろいろな事業をしているよ。



三重県に暮らす外国人の状況

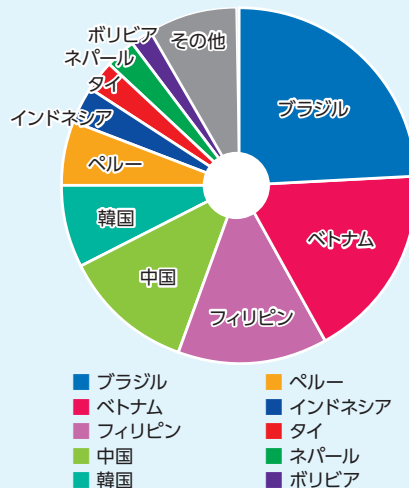
三重県に暮らす外国人は53,042人です(2021年12月末、三重県調べ)。2年連続で減少しましたが、県内総人口に占める外国人住民の割合は、全国的な順位で第4位です(2021年1月1日、総務省調べ)。

最も多い国籍はブラジルの方で、ベトナム、フィリピン、中国国籍と続きます。

在留資格別では、永住者が最も多く、地域で長く生活する外国人住民が多いことが分かります。

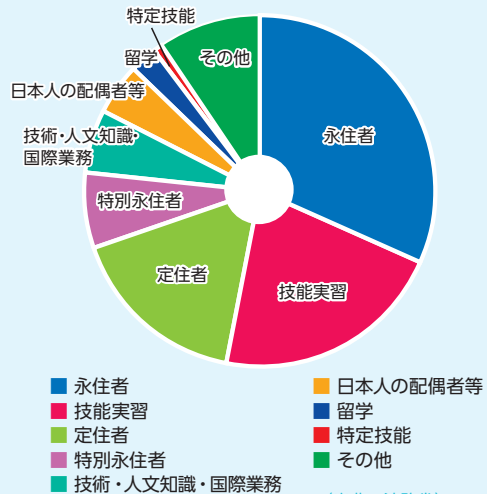
多様な文化・習慣を持つ人々が互いを理解・尊重することで、より豊かな社会となることを願い、MIEFは事業をしています。

国籍（地域）別外国人住民割合



(出典：三重県)

在留資格別外国割合



(出典：法務省)

外国につながる子どもの状況

県内に定住する外国人の方が増加し、三重県で家族をつくり、子育てをする家族も増加しています。

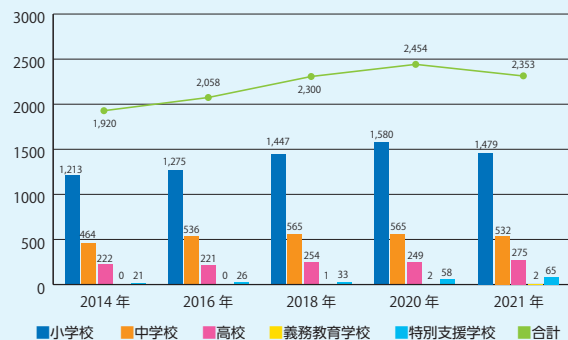
日本生まれ、日本育ちの外国につながる子どもたちであっても、教科学習等などで必要となる日本語の習得が課題となっています。

日本語の指導が必要な県内の小学校、中学校、高等学校、義務教育学校、特別支援学校に在籍する児童生徒数は2,657人です(2021年5月、県教育委員会調べ)。

特別支援学校に在籍する児童生徒の増加、高校に進学する生徒の増加が、近年の特徴です。

MIEFでは、外国につながる子どもたちが未来を切り拓く力を育むことができるよう、成長の支援をしています。

(人) 三重県内の日本語指導が必要な外国籍の児童生徒数



(出典：三重県教育委員会事務局小中学校教育課)

防災への取り組み

南海トラフ地震の発生による大きな被害が想定される中、外国人住民の多くは災害の経験や知識に乏しく、被害を最小限に抑えるために平時からの備えが必要です。一方、外国人住民は災害時に要援護者から支援者になれる可能性もあります。

MIEFでは、外国人住民と行政の橋渡しができるようなキーパーソンの育成、避難所での外国人避難者の受入れ環境の整備に取り組んでいます。

外国人防災リーダー育成研修 (桑名市・津市)

外国人コミュニティの中でキーパーソンの存在である方を主な対象に、外国人住民の自助・共助の担い手として、地域住民と協力しながら、地域の防災活動や災害時の救助活動に関わる人材「外国人防災リーダー」の育成を目指した研修を実施しました。

研修を終了した参加者は、市の情報を発信したり、研修で学んだことを同国の人たちに伝えたりして活動しています。



▲地元桑名市で活動する防災リーダー



参加者コメント:

- ・災害が起きてからではなく、みんなで助け合いながら、そのために備えて勉強をしていけたらいいなと思った。
- ・研修に参加してよかった。これからも勉強して、できれば桑名市のベトナム人コミュニティに今日の勉強内容を伝えたい。

避難所における外国人避難者受入訓練 (桑名市)

避難所運営や支援活動に携わる団体や外国人住民とつながりのある団体を主な対象に、避難所の運営や「やさしい日本語」を活用した外国人避難者対応について学び、多言語ピクトグラムなどのツールを活用した避難所設置、外国人避難者を受け入れる模擬訓練を実施しました。



▲やさしい日本語を活用した外国人避難者対応

参加者コメント:

- ・外国の方への対応についての訓練は初めて参加したが、今まで気づかなかったことがたくさんあった。
- ・「やさしい日本語」は、外国の方だけでなく子どもにも分かりやすいと思う。



多言語情報提供に特化した訓練 (桑名市、鈴鹿市、みえ災害時多言語支援センター)

みえ災害時多言語支援センター(三重県・MIEF)、桑名市、鈴鹿市、鈴鹿国際交流協会の職員を対象に、過去の事例をもとに災害時の外国人支援のあり方について学び、各拠点の現状と課題を整理するとともに、今後に向けた必要な対策などについて共有する訓練を実施しました。



▲災害情報の提供について学ぶ講座



参加者コメント:

- ・各組織のできていること、できていないこと等が浮き彫りとなり、勉強になった。
- ・講義では、外国人のニーズにあった情報を、いかに伝えることができるか(外国人の立場になって、想像すること)が大変参考になった。

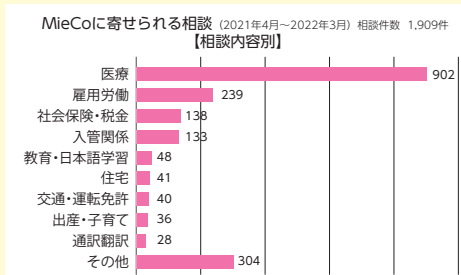
MIEFの相談窓口

外国人住民の増加、国籍や在留資格の多様化に伴い、相談窓口寄せられる相談も多様化・複雑化しています。日本語が十分でない外国人住民の方々も、安心して三重県で生活できるように、支援・専門機関と連携を取りながら、多言語による相談対応をしています。

みえ外国人相談サポートセンター (MieCo (みえこ))

三重県からの委託を受けて運営をしている「みえ外国人相談サポートセンター(MieCo(みえこ))」では、在留手続きや医療、福祉、教育など日常生活における相談や、新型コロナウイルス感染症の相談に11言語で対応しました。

また、専門相談会(出入国・在留資格相談、弁護士相談、臨床心理士相談、社会保険労務士相談)や市町職員・相談窓口対応職員を対象とした研修会を開催しました。



MieCo相談対応(令和4年度も継続)

相談日 日曜日～金曜日
(土、祝日、12月29日～1月3日は休み)

相談時間 9:00～17:00

相談専用番号 080-3300-8077

場所 三重県国際交流財団(MIEF)事務所内

相談できる言語 英語、ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語、中国語、韓国・朝鮮語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語、タイ語、日本語

相談料 無料

相談できる内容 在留手続、仕事、医療、福祉、出産・子育て、教育についてなど

みえ外国人コロナワクチン相談ダイヤル

新型コロナウイルスワクチン接種に関する相談や、ワクチンの予約業務に11言語で対応しました。令和4年度も、引き続き相談ダイヤルを運営しています。

相談日 日曜日～金曜日
(土、祝日、12月29日～1月3日は休み)

相談時間 9:00～17:00

相談番号 080-3123-9173



保健所調査支援

外国人住民の新型コロナウイルス感染事例等が発生したとき、各保健所からの要請を受けてポルトガル語、スペイン語の通訳者が対応しました。

外国につながる子どもたちの発達相談

「ことばが出るのが遅い」、「いつも騒いでいる…」など、保護者からの子どもの発達についての相談に、臨床心理士が通訳を付けて対応しました。

令和4年度は、頻度を増やし、毎月1回、日曜日に相談会を実施しています。

Consultas sobre desenvolvimento para as crianças de origem estrangeira
Consultas sobre el Desarrollo Dirigida a Niños de Raíces Extranjeras
Development Consultation for Children Connected with Foreign Countries
有 天 外 國 九 童 童 友 友 會 會

FREE 外国につながる子どもたちの発達相談

この相談は、
無料です。
※予約は、必ずしてください。
※予約は、必ずしてください。
※予約は、必ずしてください。
※予約は、必ずしてください。

いつ? 2022年4月10日(日)、5月8日(日)、6月12日(日)、
7月10日(日)、8月7日(日)、9月11日(日)、10月9日(日)、
11月13日(日)、12月11日(日)、
2023年1月8日(日)、2月12日(日)、3月12日(日)

どこ? 13:00～14:00 2:14:30～15:30

相談料: 無料
予約: 無料
通訳: 無料
会場: 三重県(みえけん)にある外国人(がいこくじん)の相談会

※詳しくは、MIEF までお問い合わせください。TEL: 090-225-5006

医療通訳・発達障がいへの取り組み

ことばの壁を心配することなく医療機関にかかれるかどうかは、外国人住民が安心して三重県で暮らすための大きな要素となります。MIEFでは、医療従事者と外国人患者のコミュニケーションを支援する人材である「医療通訳者」の育成、医療機関等における外国人患者の受入環境の整備に取り組んでいます。また、外国につながる子どもたちの発達障がい支援の場面での通訳育成などに努めています。

医療通訳育成研修

令和3年度の研修では、5回にわたり、医療に関する基礎知識や倫理、通訳技術などを学ぶとともに、現役医療通訳者が抱える倫理的課題の事例研究(ケーススタディ)と医療通訳のあらゆる形態(対面通訳(常駐配置・単発派遣)・遠隔通訳(電話・ビデオ電話))のそれぞれの特徴を理解し、各形態で活動できる医療通訳者の育成を目指した研修を実施しました。

医療機関に勤めている医療通訳者をはじめ、通訳の経験があり、今後医療現場での活動を希望する42人(5言語)が参加しました。



◀医療通訳者の活動紹介



参加者コメント:

- 医療通訳者の実際の現場のこと、業務内容などを知ることができた。貴重な体験談を、本当にありがとうございました。

外国人患者対応支援セミナー

医師、看護師、医療ソーシャルワーカーなどの医療従事者などを主な対象に、言葉・文化の違いを踏まえた外国人患者への対応方法、やさしい日本語を用いたコミュニケーション方法、未収金発生防止策の事例研究(ケーススタディ)を通じて医療現場で起こり得るトラブルの対処方法を学び、外国人患者を受け入れる医療機関等の体制づくりに取り組む人材の育成を目指した連続セミナーを実施しました。

また、医療従事者の医療通訳業務への理解を深めることを目指して、医療通訳(対面・遠隔)を用いた外国人模擬患者の診察体験を行いました。



◀遠隔通訳を活用した外国人患者対応の演習

参加者コメント:

- さまざまな通訳の形態を通しての実践がとても参考になった。
- やさしい日本語やケーススタディなど幅広い内容で、たくさんのことを勉強させていただいた。



外国につながる子どもたちの発達支援通訳育成研修

発達障がいについての、専門知識と通訳倫理を身に付けた通訳者を育成する研修会を開催し、ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語の通訳者33人が参加しました。受講者には今後、発達支援通訳パートナーとして活動いただきます。

シンポジウム「みんなで考える外国につながる子どもたちの発達障がい」

外国につながる子どもたちの発達障がいの実態と課題を明確にすることを目的としたシンポジウムでは、4つの提言が出されました。令和4年度はこの提言を実現するよう取り組みを進めています。

- ①外国につながる発達障がい児の実態把握、②支援につながる情報の提供、③外国につながる発達障がい児支援のための検討を行う会議体の設置、④専門知識を備えた通訳者の育成と活用



地域の日本語教育

外国人住民が地域の一員として自立した生活を円滑におくれるよう、MIEFでは、県内の外国人住民の日本語学習を支援するための日本語教育の総合的な体制づくりや人材育成に取り組んでいます。

地域日本語教育コーディネーターの育成

令和3年度は、令和2年度に育成した地域日本語教育コーディネーターが中心となり、日本語ボランティア研修の企画やファシリテーターをしたり、企業訪問、オンラインでの日本語教室を企画・実施するなど、より実践的な研修を行いました。

また、地域の日本語教室の目的や成果、活動内容について議論しました。今後は、各市町で地域日本語教育コーディネーターを積極的に活用していく予定です。



▲コーディネーター研修

外国人を雇用している企業の訪問

外国人従業員の日本語学習支援に関心のある8市町14事業所を訪問（一部はオンラインにより実施）し、どのような支援を行っているか、課題は何かについてお話を聞きました。多くの事業所が、外国人従業員をわが子のように思い、将来のためにできる限り日本語習得をサポートしたいと考えておられました。改めて日本語教育の体制整備の必要性が明らかになりました。

四日市市外国人雇用企業向け講演会

四日市市内で働く外国人市民が増加する中で、外国人材の受入れと定着のためには、日本語学習支援が重要です。令和3年度は、四日市市とその周辺地域において外国人従業員を雇用している企業等を対象に、講演会を開催しました。

企業内日本語教室を実践している企業からのお話を元に、行政や外国人市民に関わる様々な主体が連携をして、日本語教育支援を行うことの重要性を共有しました。

今後四日市市では、市内企業を対象とした日本語教室の実施を予定しています。

参加者コメント：

- 外国人が労働力としてではなく、日本、地域を支える大事な人材であることを、市民、企業が理解することが重要。
- 企業内日本語教室がもっと広がることを期待する。



日本語ボランティア研修

市内の日本語教室で活動する日本語ボランティアを育成するための連続講座を計8回開催しました。「日本語ボランティアの役割」、「異文化コミュニケーション」、「やさしい日本語」などの講座の後、受講者が外国人市民の皆さんと日本語で話す実践を行い、実際の日本語教室での活動へつなげました。今後も外国人市民と日本人市民が日本語を通して交流し、同じ地域の一員として楽しく過ごせるよう、日本語学習支援を続けていきます。

★日本語ボランティアの活動に興味のある方は、ぜひお近くの日本語教室情報をご確認ください。➡



▲ボランティア研修実践編



子どもたちの未来のために！

MIEFでは、子どもたちが自ら未来を切り拓く力を身につけるよう、幼児期からの多言語による読み聞かせ教室の開催、日本語学習教材の作成、高校進学に関する情報の提供やキャリア支援、発達障がいへの支援などに取組んでいます。

高校生への日本語支援

日常的な場面で使用される日本語が理解できる力を育むことを目的として、日本語指導が必要な高校生たちを対象に、『高校生版みえこさんの日本語ワークシート』を活用した日本語学習クラブを実施しました。

また、高校において日本語指導を担当する先生方を対象に、日本語指導のカリキュラム作成をテーマとした研修を実施しました。



受講者コメント：

- 実践的で、各校の現状に合わせて応用できる内容だった。
- 他校の先生方との意見交換でモチベーションアップにつながった。

みえこさんのにほんごシリーズ

外国につながる子どもたちが、学校生活を送るために必要な日本語を学べるよう、初期日本語学習教材「みえこさんのにほんご」シリーズを発行しています。

教師用指導書やCD、絵カード、高校生を対象としたワークシートなどもあります。



▲MIEF 発行の日本語学習・指導教材

三重県の多文化共生を考えるドキュメンタリー映画「^{クロスロード}Crossroad」の制作

三重県の令和3年度映画で知ろう！「みえで活躍する外国人住民」事業として、県内で活躍する外国人住民を紹介するドキュメンタリー映画を制作しました。

日本人と外国人のワークショップ参加者37人が出演者、撮影場所、出演者へのインタビュー内容案について意見を出し合いました。

三重県に48年住んでいるオランダ人、介護施設で実習を受けているベトナム人、溶接の会社やレストランを営んでいるブラジル人、日本人の子どもと一緒に勉強している中国とパキスタンの小学生。

三重県で仕事や勉強に取り組んでいる外国人の生活、夢、それぞれにとっての「日本」を描いた映画が完成しました。

県からDVDが貸出しされています。ぜひご覧ください。



貸出し方法 →



映画視聴者からのコメント：

- 日本に外国から来ている理由は様々で、それぞれが幸せに生きていくために努力や協力している姿に心を動かされた。
- お互いを尊重すること、相手の立場に立って考えること、思いやる事が多文化共生につながると思った。

賛助会員の募集・寄付のお願い

事業内容の充実を図るため、賛助会員を募集しています。
MIEFの活動理念にご賛同いただき、ご支援をお願いいたします。
寄付金・賛助会費は税額控除の適用対象です。
詳しくは事務局までお問い合わせください。



賛助会員・寄付金の募集

<http://www.mief.or.jp/jp/sanjo.html>



◆ 賛助会員特典

- 日本語教材『みえこさんのにほんご』シリーズ等の価格を割引きます
- 世界の国旗を無料で貸出します



◆ 賛助会費

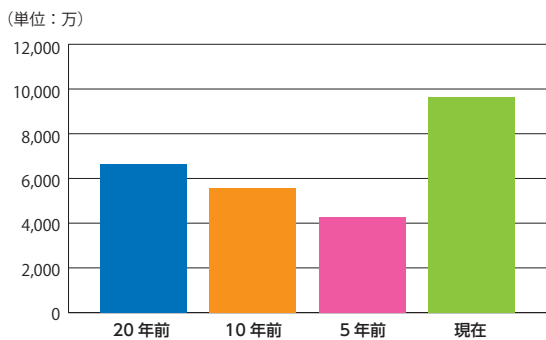
- 団体会員 1口 ¥12,000
- 個人会員 1口 ¥3,000
- パートナー会員* 1口 ¥1,000

※財団パートナー制度にご登録いただいている方が対象

◆ 入金方法

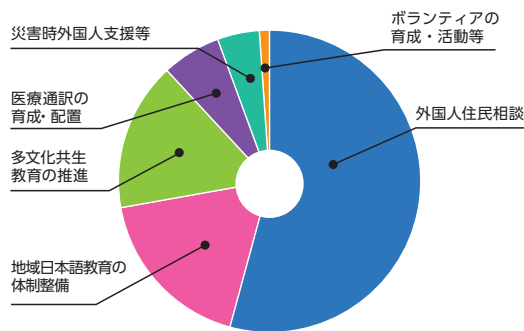
- ゆうちょ銀行 ○九八店 当座 0018074 公益財団法人三重県国際交流財団
 - 百五銀行 津駅前支店 普通 292889 公益財団法人三重県国際交流財団賛助会費口
- ※振込手数料のご負担をお願いします

■ 事業収益の推移



令和3年度はコロナ感染症対応にかかる事業受託により事業収益が増えましたが、低金利による基金運用益の減少や、事業予算が年度により大きく異なること等から、今後も新規事業の企画・立案、市町等からの事業受託、助成金の活用等、多角的な財源確保に努めていきます。

■ 事業別支出内訳



賛助会費・寄付金は、多文化共生社会の推進・国際交流の促進・国際協力の拡充のための事業に、大切に使用させていただきます。

■ 沿革

- 1991年 (平成3年) 地域の国際化を推進する中核的組織として設立。
- 2004年 (平成16年) 外国人児童生徒の教育推進を図る財団法人三重県国際教育協会と統合。
- 2012年 (平成24年) 公益財団法人へ移行。



公益財団法人 三重県国際交流財団

【事務局所在地】〒514-0009 三重県津市羽所町700 アスト津3階
TEL 059-223-5006 MAIL mief@mief.or.jp URL <http://www.mief.or.jp>
Facebook <https://www.facebook.com/mief19912022/>



Facebook

